



議会報告ニュース [第24号]

公式サイト <http://midoritonet.info>

秋
冬 2021
号

発行：緑の党と市民ネットワークの会 / 〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所 議会棟11階 / TEL.092-711-4875 / FAX.092-733-5881



コロナ対策・支援は十分だったのでしょうか？

2020年度は何度も補正予算が組まれ、当初予算8874億円に対し、最終的な決算額は1兆2579億円まで膨らみました。うち、感染症対策の決算額は約4527億円。国や県からの支出以外に市独自でも「商工金融資金の預託金 2658億円」「休業・時短要請への協力店舗等への家賃支援 40億円」「医療従事者に対する特別給付金 14億円」などに取り組みました。

予算に計上されたものの実際に使われなかった予算を「不用額」と言いますが、例年は200億円程度にもかかわらず、2020年度は**425億円**もありました。



◆ 基金は十分に積み立てられたまま……

市は大規模災害の発生などで大幅な税収減などが起こることを想定して、財源に余裕のある年に「財政調整基金」を積み立てています。感染症対策・支援策で支出が増加する一方、税収の減少が見込まれたことからその基金を取り崩す予定でした。

などにより、一般会計は86億円の黒字となり、基金の取り崩しはほとんどなく、むしろ一般会計が黒字だったことから基金は27億円増える結果となりました。

	2016年度末	2020年度末
一般会計基金総額	655億円余	894億円余
財政調整基金	242億円余	368億円余
スポーツ振興基金	20億円余	41億円余
土地開発基金	64億円余	151億円余

- しかし、
- ・あとから国からの補助が入ってきた
 - ・実際の税収はそれほど落ち込まなかった
 - ・多額の不用額が生じた



◆ 緊急時の税金の使いみちとして疑問が残ります

持続化給付金や雇用調整助成金などの対策により、昨年9月に見込んでいたほどには税収が落ち込まなかったことは評価できます。福岡市は2兆円超の借金があるため無駄遣いはできません。しかし、不要不急の事業を延期や中止して財源を捻出したとはいえ、

基金は十分に積み立てられたまま、425億円もの不用額が生じ、「都市の成長」のための投資を優先させている状況を見ると、非常時の税金の使いみちとして疑問が残ります。このお金で市民の皆さんが求めていた支援をもっと手厚くできたのではないのでしょうか？